

様式第5号(第15条関係)

審議会会議録

審議会等の名称	平成30年度 瑞穂市地域公共交通会議
開催日時	平成31年2月26日(火曜日) 午後1時30分から午後3時00分
開催場所	瑞穂市総合センター 5階第4会議室
議題	報告事項1 「みずほバス」再編後の利用状況について 報告事項2 新規路線「安八穂積線」の利用状況について 報告事項3 評価と今後の課題
出席委員 欠席委員	出席委員 15名 倉内文孝(会長)、迫田義一(副会長) 武藤行儀(代理斎藤浩一)、山田規光久、 林直樹(代理佐藤浩一)、石井厚司、矢野敏雄、 野田寧宏、加藤明、河合良隆(代理金森幹雄)、 鷺見高志(代理正村明)、沢木利勝、水野昭人、 鹿野政和、早瀬俊一 欠席委員 1名 高橋誠
公開・非公開の 区分 (非公開理由)	公 開 ・ 非 公 開
傍聴人数	0人
審議の概要	別紙のとおり
事務局 (担当課)	瑞穂市 企画部 総合政策課 T E L 0 5 8 - 3 2 7 - 4 1 2 8 F A X 0 5 8 - 3 2 7 - 7 4 1 4 e - m a i l s o u g o u @ c i t y . m i z u h o . l g . j p

平成30年度 瑞穂市地域公共交通会議・会議録

日 時 平成31年2月26日(火) 午後1時30分から午後3時00分
場 所 総合センター 5階 第4会議室

出席委員 会長 倉内 文孝 副会長 迫田 義一
武藤 行儀(斎藤 浩太代理) 山田 規光久
林 直樹(佐藤 浩一代理) 石井 厚司
矢野 敏雄 野田 寧宏
加藤 明 河合 良隆(金森 幹雄代理)
鷺見 高志(正村 明代理) 沢木 利勝
鹿野 政和 水野 昭人(森 隆行代理)
早瀬 俊一

欠席委員 高橋 誠

事務局 企画部長 梶浦 要 総合政策課長 井上 克彦
主査 武藤 崇晃

傍聴人 無し

1. 開会

(事務局)

只今から平成30年度瑞穂市地域公共交通会議を開催いたします。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。議事進行が始まるまで進行役を務めさせていただきますのでよろしくお願ひします。

2. 会長あいさつ

本日は昨年4月から再編後運行が始まったみずほバスと新規路線である安八穂積線の利用状況についてご報告いたします。報告事項を踏まえ、日頃みなさんが課題と感じておられることなどについて忌憚ないご意見をいただければと思います。本日はよろしくお願ひいたします。

(事務局)

議事に入る前に資料の確認をいたします。

(資料の確認)

(事務局) それでは本日の出席状況を確認させていただきます。

(出席状況を確認)

(事務局) 瑞穂市附属機関設置条例第8条第1項に定める過半数の委員の出席を満たしているため会議は成立します。

(事務局) これからの議事進行については、倉内会長に議長をお願いします。

(会長〔議長〕) はじめに事務局に確認いたします。本日、傍聴希望者はお見えでしょうか。

(事務局) 本日の会議につきまして、傍聴希望者はございません。

(会長〔議長〕) それでは進めさせていただきます。

〈会議に当たっての確認事項〉

- ・会議録の要点筆記
- ・発言委員の氏名公表
- ・会議録は会長、副会長が確認を行ったのち公開

(会長〔議長〕) 議事に入る前に、昨年5月、委員の皆さんに書面で確認していただきました、安八町コミュニティバスの瑞穂市内バス停設置について、結果のご報告をお願いします。

(事務局) 平成30年5月、公共交通の利便性を向上するため、市内ほづみ園、プラント6付近に安八町コミュニティバス「アンビーバス」のバス停を設置することについて、安八町公共交通会議会長よりご依頼がありましたので、委員の皆さまにご意見をお伺いしたところ、委員17名中賛成16名、無回答1名でした。よって当協議会として、当該議案について承認である旨を安八町公共交通会議会長にご報告いたしました。それを受け、アンビーバスは平成30年7月18日より路線再編が実施され、ほづみ園、プラント6のバス停が設置されました。アンビーバスのバス停は、みずほバスのバス停に併設する形で設置されています。

(金森委員) バス停を併設されているとのことですが、利用者の方から乗り間違えがあったとか、わかりにくいという声はありますか。

(事務局) これまでのところそのような意見はありません。

(野田委員) 安八温泉がリニューアルに伴い休業されるということですが、それについて何かご存知ですか。

(事務局) 今のところ安八温泉からはそのような話は聞いておりませんが、確認させていただきます。

4. 議事

報告事項1 「みずほバス」再編後の利用状況について

(事務局) 平成30年4月1日より再編しました、みずほバスの利用状況について説明します。

資料①で再編の概要、月別利用者数、利用者の属性、路線別利用状況（便別利用者数、バス停別乗降者数、バス停間利用者数）について説明。

(鹿野委員) 再編により全体として139%の利用者増となっておりますが、利用者の声はどのように届いていますか。

(事務局) 利用者からは19時台や20時台の便が増えたので便利になったという声があります。これに対して利用実態をみると、全体としては朝の利用は増えていますが、19時台や20時台の利用は多くないという現状です。事務局としては、夜の便があるという安心感から、朝の利用が増えているのではないかと考えています。

(加藤委員) 本田七崎線の高齢者の利用が減っているというのが気になりましたが、他の路線はどうでしょうか。

普段、タクシーで買い物に行く高齢者をよく見かけるのですが、バスを使わないということは、バス停まで歩いたり荷物を持って運んだりすることが負担になっているのでしょうか。

(事務局) 今回資料にお出ししているものは、調査日2日間を合計した結果となっております。平成29年度の調査日には、総合センターで高齢者向けの大きなイベントがありました。そのため、平成29年度の調査結果と比較すると平成30年度の高齢者の利用数が少なくなっておりますが、誤差の範囲と考えています。

全体の高齢者の利用については、再編前から23人減となっておりますが、総合センターにおける高齢者向けのイベントにより利用者が増えていたと仮定すると、利用者数はほぼ横ばいか、もしくは微増しているのではないかと考えています。

(会長〔議長〕) 全体としては利用者数が増加しており、いい傾向だと思います。高齢者の利用については、どこかのタイミングで利用者の声を集める必要があると思います。

また、朝の利用が増えている一方で夜の便の利用が多くないということは、片道利用が多いということです。今後は、行き帰りの利用の傾向についてもアンケート等で把握していけるといいのではないかと思います。

報告事項2 新規路線「安八穂積線」の利用状況について

(事務局) 平成30年4月1日から新しく運行しております安八穂積線の概要と利用状況について説明します。

資料②で路線概要、月別利用者数、利用者調査結果（バス停別乗降者数、バス停間利用者数、便別利用者数、利用目的、行き先、安八穂積線運行前の移動手段）について説明。

(加藤委員) 運行開始早々に事故があったようですが、その後の運行状況はいかがでしょう。

(山田委員) 皆さまにはご心配をおかけしまして申し訳ございませんでした。事故は、安八町内の見通しがいい交差点で起こりました。安八町内では事故がよく起きる場所だそうです。相手側がノーブレーキでバスに衝突しました。事故当時、幸いに乗客はいませんでした。運転手は病院に搬送され、バスは廃車となりました。それ以降大きな事故は何も起きておりません。日ごろバスが走っていない道路にバスが走るということに対して、認知が行きわたっていなかったということと、見通しのいい交差点ではバスは止まるだろうという「だろう運転」があったのだと思います。今後も事故防止には努めていきたいと思っています。

利用状況について、自転車からバスに転換して下さった方が多くいます。特に安八町内では高校生の自転車事故が多くなっており、安八穂積線が運行することで、少しでも事故防止に役立っているのではないかと考えています。

安八穂積線の特徴として、高齢者の利用は少なく、高校生や20～30代の若年層の利用が多くなっております。引き続き高校生等に向けた利用促進を行い、多くの方に乗っていただけるよう努めてまいります。

(石井委員) 月別利用者数の通学者の人数をみると、5月、6月は800人を超え

ているのに、12月になると400人台まで減っています。ここまでの差があることに関して、何か理由があるとお考えですか。

(山田委員) 名阪近鉄バスでは、定期券が売れたときに人数を計上するという方法をとっています。新学期になると多くの方が購入されますが、学期が変わってから継続して買っていただけていないという現状があります。

名阪近鉄バスでは割安な年間定期券というものを用意していますので、大垣桜高校の学生に利用していただくよう働きかけをしています。

(野田委員) 穂積駅から大垣桜高校方面へ向かって、8時前後に十数人の方が自転車で移動しているのを見かけます。自転車で乗っている方に対する状況調査や利用促進の働きかけをしていただければと思います。

(事務局) おっしゃる通り、現在バスを利用していない方に、いかにバスを利用していただくかということが重要だと考えております。中学3年生や高校生に対してチラシを配布するなど、PRを重ねていきたいと考えています。

(会長〔議長〕) 大垣桜高校へ訪問されることもあると思いますので、その際に学生の通学事情についてヒアリングしていただければと思います。

(山田委員) 名阪近鉄バスでは、大垣桜高校の合格発表に出向いて、安八穂積線の定期券の出張販売を行っております。

(会長〔議長〕) そのタイミングでのPRは重要ですね。加えて中学生に対しても、進路を決める際にバスでの通学を前提にしていけるような働きかけをしていけるといいと思います。

(金森委員) 調査をする際は、利用者数が平均的な日を選んでいただけないと思います。どこかでイベントがあったり雨天の日などは、どうしても利用者が多くなる傾向にあり、前年度比較をする際などに適切な分析ができなくなります。今後、利用者調査をする際は、天気やイベントに注意して日程を決めていただければと思います。

(会長〔議長〕) 近年は安価な常時観測の手法もありますので、ぜひそういったものを検討いただけないと思います。

報告事項3 評価と今後の課題について

(事務局) みずほバスと安八穂積線について評価と今後の課題を説明します。
資料③で利用状況のまとめ、運行経費等の評価、利用促進策について説明。

(石井委員) 傘をさして自転車を運転することは法律違反になるため、近年、市内で傘さし運転を見ることは少なくなっています。雨の日にバスを利用したいと考えている高校生は多くいると思いますので、警察と協力して、このような観点からも利用促進をしていただけるといいと思います。

(事務局) 警察と連携して交通ルールを守るという観点からも働きかけをしていきたいと思います。
現在は、北方警察署にて、運転免許証自主返納の申請があった方にバスの路線図を配布していただくようお願いしています。

(会長〔議長〕) 雨の日は親御さんが送迎するパターンも多いので、親御さんに対してもバスを使うと便利だということを知らせていけるといいと思います。

(会長〔議長〕) みずほバスの運行経費に関してですが、燃料費や人件費の関係で運行に関する単価が上がったということはありませんか。もし単価が上がっているのであれば、再編による運行経費の増加分と切り分けて考えられるようにしていただくといいと思います。

(事務局) 燃料費や人件費の増加はあるので、そのあたりを加味しない運行経費の増加量も整理したいと思います。

(会長〔議長〕) 通勤者の中には、小銭を準備しなければいけないことなどにわずらわしさを感じている方もいらっしゃると思います。そういった意味でも定期券の導入を前向きに検討していただければと思います。
また、来年度から岐阜バスの協力のもと大野穂積線が増便されます。安八穂積線と大野穂積線の乗継利用も増えていくといいと考えています。現状の時刻表を見ると、待ち時間が短く乗継が難しそうな便もありますので、将来的に二社間で調整していただけるとありがたいと思います。

(金森委員) みずほバスと安八穂積線は幹線補助の対象となっている路線です。利用実績を見ると、安八穂積線は輸送量が15人未満となっております。

この状況が2年間続きますと補助の対象から外れることになってしまいます。沿線で危機感を持って利用促進に取り組んでいただければと思います。

(事務局) 瑞穂市、安八町では自治会などにバスを利用していただけようをお願いをしています。沿線自治体としても当初想定していたよりも利用者が少ないことを心配しています。今後は、大垣市墨俣町でも転入者や自治会への時刻表の配布や、目につく場所での時刻表の設置をしていただけるようお願いをしていくつもりです。

(会長〔議長〕) 全体としては、利用者は増えていますが、収支率をみるとまだまだ改善の余地があると思います。住民のみなさんはまだ自動車に頼る生活スタイルが染みついているということだと思います。住民の生活スタイルは簡単に変わるものではありませんが、地道な努力を継続的に進めていただき頑張ってくださいと思います。

(迫田委員) みずほバスについて、朝夕の通勤時間帯は一時間に一本しかありませんが、ここの運行本数を増やすことはできないのでしょうか。ここを増やせば利用者数は増えると思います。

安八穂積線については、瑞穂市、安八町、墨俣町の3つの地域で行われるイベントにうまく便乗してバスを走らせるといいと思います。普段はバスを利用しない方がイベント等をきっかけにバスを利用していただければ、バスに慣れていただけるとと思います。

(事務局) 通勤時間帯に増便すべきだというご意見に関して、おっしゃる通りだと思います。ただ、バス会社での運転手や車両の確保が難しいというところと、費用の問題もあるため、現行の運行状況となっております。一時間に一本しかなく、利用者の方にはご不便をおかけしていますが、行政としては一時間に一本のバスに合わせて移動していただけるような提案をしていけたらと思います。

安八穂積線のイベントでの利用について、乗降調査でも安八町ふれあい祭りで利用されていたという結果がでていますので、今後も沿線市町で何かイベントがあった際にはバスを利用していただけよう提案をしていきたいと思います。3月15日、16日には穂積駅前定期的に開催している「ほづみ夜市」というイベントが開催されます。今回は、安八町や墨俣町の方に安八穂積線を使って利用していただけるよう、安八町の広報にイベントに関する折り込みチラシを入れさせていただきました。今後は、イベントで利用された方がその後も継続して利用していただけるような策についても検討していきたいと思います。

(迫田委員) 現在のみずほバスはループ型のルートで、一周一時間ほどで運行されていますが、朝の便だけでも駅から最も離れたバス停からまっすぐ駅に向かってくるというルートにできないでしょうか。そうすれば運行時間も30分で済みますので、便数を一本増やせるのではないのでしょうか。

(事務局) 朝は各バス停から穂積駅に向かうために利用されています。ただ、例えば本田七崎線ですと、第一便が穂積駅を6:20発、7:14着、続けて第二便が7:30発、という時刻表になっているため、便数を増やそうと思うとどうしてもバスがもう一台必要になってしまいます。

(会長〔議長〕) 難しい問題だとは思いますが、ニーズがどれほどあるのかということも重要になってきます。今後調査をするなかで大きいニーズがあるようでしたらぜひとも検討していただけないかと思います。

また、運行の頻度の問題も重要ですが、みずほバスは穂積駅発着の利用が多いことを踏まえても、穂積駅に快適に待てるスペースをつくることも重要だと思います。そういったことも長い目で見て検討して頂けたらと思います。

4. その他

(事務局) 現在、瑞穂市では穂積駅周辺整備に向け検討を行っているところで、公共交通の在り方も議論の一つとなっています。今回はバス路線やバスのロータリーについて情報提供させていただきますので、ご意見いただければと思います。駅前整備の担当である都市整備部長の鹿野委員から概要を説明させていただきます。

(鹿野委員) JR 穂積駅周辺整備研究会について進捗状況をご説明させていただきます。

資料（JR 穂積駅周辺整備研究会の概要、バス路線イメージ）で整備後のバス路線イメージについて説明。

(加藤委員) みずほバスの北側路線は、市役所にアクセスできなくなるのでしょうか。

(鹿野委員) 北側路線は、穂積駅北口に入った後、瑞穂市役所に行き、穂積駅南口に入るというルートとなります。みずほバスは4路線とも市役所を通過するルートを取りたいと考えています。

(会長〔議長〕) 穂積駅北口整備はこれまで望まれていたことですので、ぜひ検討を進めていっていただきたいと思いますが、利用者にとっては北側路線と南側路線の乗継が抵抗になることが懸念されます。ぜひ乗継利用も考慮に入れた上でデザインを作っていただきたいと思っています。

6. 閉会

(事務局) 本日は長時間議論いただきありがとうございました。これを持ちまして瑞穂市地域公共交通会議を終了とさせていただきます。本日はありがとうございました。